

九州地方整備局 入札監視委員会第一部会 審議概要

開催日及び場所	平成27年9月28日(月) 福岡第二合同庁舎2階共用第4・5・6会議室		
委員	安藤 圭悟(公認会計士)、池田 稔(弁護士)、園田 佳巨(大学院教授)、 田代 芳樹(新聞社論説委員)、中川 正裕(経済団体専務理事)		
審議対象期間	平成27年4月1日～平成27年6月30日		
抽出案件	総件数 9件	(備考)	
工 事	一般競争(政府調達)	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・審議対象期間内に契約した工事等の件数を報告しました。 ・審議対象期間内における指名停止等の状況を報告しました。 ・審査対象期間内における談合情報を報告しました。 ・低入札価格調査対象工事の発生状況を報告しました。
	一般競争(政府調達以外)	5件	
	指名競争	0件	
	随意契約	1件	
	建設コンサルタント業務等	2件	
	役務の提供及び物品の製造	1件	
	随意契約に係る調達予定 事前確認案件	総件数 1件	
	意見・質問	回 答	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	な し		

意見・質問	回 答
<p>【入札契約運用状況の説明】</p> <p>1. 総括表(工事、コンサル、物品、役務)</p> <p>2. 指名停止等の運用状況</p> <p>3. 談合情報関係</p> <p>4. 工事種別毎の低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況</p> <p>【一般競争方式】 (政府調達に関する協定適用対象工事) 対象案件無し</p> <p>【一般競争方式】 (政府調達に関する協定適用対象工事以外・一般土木工事)</p> <p>1. 水島地区耐震対策工事</p> <p>2. 鹿児島10号大崎地区海岸擁壁(3期)工事</p> <p>1. について、</p> <p>○競争参加資格が無い場合は、どのように対応しているのか。</p> <p>○反論・苦情などはあるのか。</p> <p>2. について、</p> <p>○6者辞退されており、また入札額にばらつきがあるが、何かあるのか。</p> <p>○最低額はいくらだったのか。</p> <p>【一般競争方式】 (政府調達に関する協定適用対象工事以外・一般土木工事以外)</p> <p>3. 新境川橋上部工工事</p> <p>4. 平成27・28年度 竹田地区維持補修工事</p> <p>5. 大分地域センター(27)建築改修その他工事外1件工事</p> <p>3. について、</p> <p>○2社手を挙げて、最終的には1社になっているが、辞退が1社入札が1社はあまり良くない気がするが、どのように考えれば良いのか。</p>	<p>資格が無いとの理由とともに書面による通知を行っている。</p> <p>苦情は無かった。 今回の工事案件としては、提出された資料に不備があったために、参加資格が無かった。</p> <p>工事毎に違い、言い切ることは出来ない。結果としてばらつきがあった。</p> <p>調査基準価格以下は、手元に資料が無いため、分かりません。</p> <p>1社調査基準価格以下だったために、1社応札となった。</p>

意見・質問	回 答
<p>○はじめから、そのように仕組もうと思えば出来るのではないか。順番などがあるのではないかと、思ってしまうですが、いかがでしょうか。</p> <p>また、1社残りの応札比率はいくらぐらいでしょうか。</p> <p>○鋼橋は、造船所が橋を造るのか。</p> <p>○金額的に安かったために、地場の造船業者が手を挙げられたものなのか。</p> <p>4. について、</p> <p>○前年度は、どこが落札されたのか。またその前は。</p> <p>○補修とは、どこまでを行うものなのか。突発的に起きた大きな事象などはいかがするのか。</p>	<p>怪しい案件では、予定価格超過が多いと考えられる。</p> <p>なお、1社残りで落札率が95%を超える案件については、全て公正入札調査委員会の調査対象案件になる。</p> <p>平成26年度の工事について、1125件ありますが、最後に1社しかいなかった工事が146件ありました。ただし、最初から1社の工事も含みます。内訳について次回等でお知らせ致します。</p> <p>72社は、同種実績がある業者であり造船所だけではない。</p> <p>今回の鋼橋上部工は比較的安い工事価格のため、地場しか手を挙げなかったと考えられる。</p> <p>前年度も同じ業者が落札されています。その前は手元の資料で分かりません。</p> <p>日常的な補修を行う工事であり、突発的に発生した大きな補修については、別途契約を行います。</p>
<p>【随意契約】</p> <p>6. 古川排水機場ポンプ設備緊急修繕工事</p> <p>○定期的な修繕ではなく、緊急的な修繕の工事であるのか。</p> <p>○予定価格の算出方法は。</p> <p>【建設コンサルタント業務】 (簡易公募型競争、簡易公募型プロポーザル方式)</p> <p>7. 平成27年度九州管内橋梁診断業務</p> <p>8. 平成27・28年度大隅管内道路改築積算技術業務</p> <p>7. について、</p> <p>○46社参加可能だが、どのような業者が可能なのか。</p> <p>○橋梁の老朽化が社会問題となっているが、橋梁診断は仕事(需要)がたくさんある状況となっているのか。</p> <p>○落札率が高い理由は。</p>	<p>ガスタービンの部品が故障していることが金曜日に分かり、火曜日に台風上陸予定であったために、緊急に部品交換の手続きを行った。</p> <p>見積もりにて算出を行っている。</p> <p>建設コンサルタントとなっている。</p> <p>法律化されたことを踏まえると、従前に比べ点検診断の需要は増えたと思われる。</p> <p>本業務は、人件費が大きな割合を占めており、旅費交通費以外は見積もり積算のため落札率が高いと思われる。</p>

意見・質問	回 答
<p>【役務及び物品】 (一般競争方式) 8. 鶴田ダム管内電気通信設備点検業務</p> <p>○手を挙げにくい要因は何かあるのか。</p> <p>○落札出来なかった業者2社が予定価格超過だが何かあるか。</p> <p>【その他の審議案件】 (事前審査) 平成27年度台風15号における筑後川堤防検討業務</p> <p>○被災の特殊性は、河川水位が上昇していないにも係わらず、被災したことか。</p> <p>○茨城で発生した堤防決壊とは、被災状況が異なるのか。</p> <p>○国の組織で、特殊な被災事例の研究をしているところは無いのか。</p> <p>○全国共通性の高い業務を整備局として発注する理由は。</p>	<p>点検は人件費が大きなウエートを占めるが、遠方の会社はなかなか手を挙げにくいと思われる。</p> <p>点検の積算は全国一律となっており、地方になると技術者確保が難しいとの背景があると考えられる。</p> <p>そのとおりです。 通常、堤防法崩れが発生する場合は、洪水が発生し水位が高い状態から水位が下がり出した時等に発生するが、今回水位が低い状態で発生した。雨だけでなく、植生や堤防天端が県道の兼用道路のため、路面排水等の色々な要因が重なっていると考えられるため、原因究明をしっかり行っていきたい。</p> <p>茨城の場合は、堤防を越水したことによる堤防決壊であり、今回の事例とは状況が異なる。</p> <p>国土技術政策総合研究所や土木研究所があるが、国土技術政策総合研究所や土木研究所などは「筑後川堤防調査委員会」の委員会メンバーとして関わってもらっている。</p> <p>九州管内で被災が発生しているため、整備局で発注している。原因等が解明した際には、全国へ情報発信を行う。</p>